



北緯40度東端の地球村

広報

ふだい

2011

11

No.594



（11月18日午前6時ころ、秋サケ定置網漁）太田名部漁港
活気再び 大漁祈願

主な内容

交通安全村民大会	2～3	村の話題、財政状況（上半期）	6～7
税の作文コンクール表彰式、ふるさと普代会の集い、村文化祭、芦生トモさん死去	4～5	スポーツ情報	8～9
		はまゆり子ども園運動会	10～13

事故ない村 皆の手で

交通安全大会で決意新た

シートベルトがあなたの命を守ります

ポスターコンクールには15人が入賞しました

県交通安全憲章を朗読する金田さん



交通事故での犠牲者に黙とうをささげます 事故のない村づくりに努力すると決意表明をしました

第28回村交通安全村民大会が11月3日、役場大会議室で開かれました。交通安全協会やシルバーク会、母の会ら関係者約80人が参加し、交通事故防止、飲酒運転撲滅を目指し、村民一丸で事故のない村づくりに努力することを誓いました。



大会では交通犠牲者に対する黙とうをし、普代中3年の金田友美絵さんが県交通安全憲章を朗読、参加者全員で読み上げました。

大会長の榎屋伸夫村長は「これからの時期、夕暮れから夜間にかけての事故が多くなります。ドライバーは一段と安全運転を心掛け、歩行者は反射材を着用し、それぞれが正しい交通安全の意識を高めるよう強くお願いしたい」とあいさつしました。

続いて、中村一雄久警察署長が「1点だけお願いがあります。昨年4月に赴任してから久慈管内で4件の死亡事故がありました。反射材を着けていれば防げた事故もあったと思います。夜光反射材をみんなを着けましょう」と呼び掛けました。

表彰では、第28回村交通安全全ポスターコンクールの入賞者15人を榎屋村長が表彰しました。

の高屋敷真由美さんが決意表明し大会を締めくくりました。

歩行者は反射材で「ビガビガ」に

大会の中では、久慈署の佐藤一成交通課長が「管内の交通事故の状況について」と題し講話。佐藤課長は「管内の事故の多くは歩行者が反射材を着けていなければ防げたと思います。『キーワードは反射材でビガビガに』これまでは運転者だけの啓発が主でしたが歩行者も反射材を着け車に見えるようにして、事故を防ぎ



反射材の着用を呼び掛ける佐藤課長

「ましよう」と訴えました。

さらに佐藤課長は「普代村は飲酒運転の検挙率が県内でワースト(悪い方)1位です。平成18年から罰則や点数も強化されました。『昔とは違うんだぞー』と思ってみんなで食い止めましょう」と啓発しました。

夜は 車に自分の姿を 早めに見付けてもらうために 反射材を着けましょう

最近県内で夕暮れ時の事故が多発していることや、これまで村内でも事故があったことから、村は10月中旬に、全世帯に腕や足に簡単に着けられるバンドタイプと靴などに付けるシートタイプの夜光反射材を配布しました。(左写真)

反射材は車のライトなどに強力に反射します。夕方から夜間に出掛ける際は、車に自分の姿を早く見つけてもらうためにも夜光反射材を着けてください。「光」があなたを守ります。



さまざまな種類の反射材があります

反射材を着けていると、いないでは こんなにも違う!



最優秀賞作品



佐藤 圭君(低学年) 下道樹里さん(高学年) 金田友美絵さん(中学校)

ポスターコンクール入賞者



普代村交通安全村民大会

◇小学校低学年の部◇最優秀賞…佐藤圭(普小2年) ◇優秀賞…上下一樹(同) 中田茉帆(同)◇佳作…深渡晃太(同) 高屋敷星七(同) ◇小学校高学年の部◇最優秀賞…下道樹里(普小6年) ◇優秀賞…菅野一平(同) 太田若那(同)◇佳作…及川愛(同) 赤坂美香(同) ◇中学校の部◇最優秀賞…金田友美絵(普中3年) ◇優秀賞…中田夕翔(同) 山田彩華(同)◇佳作…大上茜(同) 嘉村佳那恵(同) ※菅野君、赤坂さん、嘉村さんは欠席しています (敬称略)

最優秀賞に澤口未来さん 中学生・税の作文コンクール



「税の作文コンクール」で表彰された普代中の皆さん

平成23年度の村納税功労者表彰式が11月3日、役場大会議室で行われ、関係者ら約50人が出席する中、最優秀賞に選ばれた澤口未来さん（普代中3年）ら入賞者8人を柗屋仲夫村長が表彰しました。

審査委員長の熊坂伸子教育長は「さわやかな中に、広い視野と深い洞察力があり、自己の気付きを周囲の人や社会に呼び掛けている作品でした」と講評しました。

同コンクールは今年で29回目。28点から校内審査を経て8点が審査されました。澤口さんを除く入賞者は、次の通りです。

◇税の作文（普代中学校）
▽優秀賞 森田周 星野うら
▽特別賞 山田彩華 日野澤司▽入選 道下愛 金田友美絵 嘉村佳那恵 ※入賞者は全て3年生、星野さんと嘉村さんは欠席しています。
(敬称略)

普代中生が 赤い羽根募金

普代中学生会長の日野澤口さんと副会長の森田周さん、澤口未来さんの3人が10月31日役場を訪れ、「生徒や各家庭で協力していただき、地域の活動に役立ててくれればうれしいです」と3万



3553円を柗屋仲夫村長（県共同募金会普代分会長）に手渡しました。（写真）
柗屋村長は「温かい気持ちを受け取りました。困っている人たちが元気に暮らせるよう使わせていただきます」とお礼しました。

23回ふるさと普代会の集い 普中校歌で故郷を応援！

首都圏で暮らす村出身者で組織する「ふるさと普代会」（中野健治会長、会員185人）の集いが10月30日、東京都文京区の東京ガーデンパレスで行われました。

午前11時30分から始まった総会と集いには、会員や来賓者、村から柗屋仲夫村長、大上浩史議長、金子泰男

副議長、村漁協から前川健吾組合長、村商工会の熊谷康彦会長、金子昇副会長ら69人が出席しました。

総会では中野会長のあいさつの後議事に入り、平成22年度の事業報告、監査報告、平成23年度の事業計画案などが出され、満場一致で承認されました。役員改選では、中野会長ほか11人が再任され、3人が新役員となりました。

懇親会では、村から東日本大震災による津波の惨状を映像で紹介。乾杯後は、皆さん久しぶりに会う仲間と近況報告などに花を咲かせ、最後は普代中学校の校歌を熱唱し村にエールを贈りました。

また、同会の皆さまから村に11万8311円の義援金をいただきました。

新役員は次の通り。任期は2年間です。

◆会長：中野健治 副会長：富川佑子、長根福人 幹事長：野崎和幸 幹事：金子得栄 錢袋清作 坂原レツ子 高橋美知子 池本スミ 上神田梅雄 井本まき子 小野真美子 監事：柗谷栄吾 道上滋

普代中学校の校歌を熱唱し村にエールを贈る皆さん



村保健推進員の

横田さんに県協議会表彰



横田ユミ子さん

村保健推進員の横田ユミ子さん（53歳）がこのほど、平成23年度岩手県保健推進委員等代表者協議会から表彰を受けました。

横田さんは、平成8年から現在までの15年余り村保健推進員として、各種検診の受診呼び掛けや健康相談への参加を促すなど、住民の健康増進に貢献しました。

「皆さんのお世話になりながら、地域の人の役に立っていただければいいな、と思ってやってきました。あつという間でした」と横田さん。

表彰式は10月12日、盛岡市の国保会館で行われた平成23年度岩手県保健推進委員等代表者協議会表彰式の式場で行われました。

丹精込めた作品ずらり 村文化祭で展示や健康コーナー



村民ホールには盆栽などが並べられました

平成23年度普代村文化祭が11月2日から4日までの3日間、役場村民ホールや保健センターなどで行われました。

会場には、村民が丹精込めて作った盆栽や生け花、パッチワークなどを、川柳や写真、油絵など

多彩な文芸作品183点を展示。交通安全ポスターや園児の絵画なども飾られました。

警察・人権擁護・更生保護コーナーでは、ポスターなどが張られ、それぞれの活動が啓発されたほか、保健師による健康相談コーナーでは、来場者がメタボ度や肺機能をチェックしていました。

また、村特産のコンブの粉を練りこんだ手打ちうどんが振る舞われたほか、ハーモニカ奏者・和谷泰扶さん(51)の震災復興支援コンサートが開かれ、多くの来場者を楽しませました。

義援金・支援金、ふるさと応援基金

(10月14日～11月12日分、敬称略)

▶株式会社薩摩恵比寿堂 5万円 ▶社団法人日本グラウンドゴルフ協会 20万円 ▶イシハラタケシ 1万円 ▶イトウイサオ 5千円 ▶株式会社ヒラトヤ代表取締役社長杉澤忠幸 50万円 ▶宮古聖明 1万円 ▶ふるさと普代会 11万8,311円 (役員・会員一同、高橋タケ、池本スミ、下坪唱三)

これまでの合計額 **50,783,129円**



読コン入賞者 24人が決まる

読書で豊かな心をはぐくもうと毎年行われている読書感想文等コンクールの審査会が開かれ、このほど入賞者24人が決まりました。

同コンクールは今年で31回目。小中学生合わせて116点の応募があり、校内審査を経た15作品が審査されました。表彰式は2月に予定されている教育振興運動実践報告会の席上で行われます。各部門の入賞者は次の通りです。

◇小学校低学年の部▷優秀賞 野田口礼茄 (1年) 古馬理貴 (2年)▷入選 川向渉翼 (1年) 太田我空(同) 佐々木亮輔 (2年) 中村麻美(同)

◇同中学年の部▷優秀賞 太田葉月 (3年) 上方こもも (4年)▷入選 野田口和奏 (3年) 藤島杏夏(同) 熊谷鈴茄 (4年) 三船萌(同)

◇同高学年の部▷優秀賞 道下瑞葵 (5年) 赤坂舞華 (6年)▷入選 新田将輝 (5年) 大村純玲(同) 嘉藤元輝 (6年) 川向悠登(同)

◇中学校の部▷優秀賞 嘉藤瑞紀 (2年) 澤口未来 (3年)▷入選 中山弘喜 (1年) 上方さくら(同) 下道諒志 (2年) 山田彩華 (3年)
(敬称略)

村最高齢 103歳

あしおい 芦生トモさん死去



村最高齢者の芦生トモさん(芦生)が10月15日、入所先の特別養護老人ホーム「うねとり荘」で死去されました。

芦生さんは、明治41年(1908)生まれで、103歳でした。謹んでご冥福をお祈りいたします。

財政状況を報告します

(上半期) 4/1 ~ 9/30

表 1

一般会計・特別会計の予算額36億6970万円 (9月30日現在)					
会計名	予算額	収入額	(収入率)	支出額	(執行率)
一般会計	36億3,665万円	18億8,757万円	(51.9%)	10億7,734万円	(29.6%)
国民健康保険	4億5,800万円	2億3,062万円	(50.4%)	1億9,175万円	(41.9%)
国民健康保険診療施設 (医科診療施設勘定)	1億2,693万円	3,331万円	(26.2%)	5,633万円	(44.4%)
国民健康保険診療施設 (歯科診療施設勘定)	7,328万円	3,450万円	(47.1%)	2,788万円	(38.1%)
簡易水道	9,130万円	4,240万円	(46.4%)	3,362万円	(36.8%)
休養施設事業 (くろさき荘勘定)	9,680万円	6,499万円	(67.1%)	4,920万円	(50.8%)
休養施設事業 (緑の村勘定)	350万円	152万円	(43.6%)	203万円	(58.2%)
漁業集落排水事業	1億4,968万円	397万円	(2.7%)	1,562万円	(10.4%)
後期高齢者医療事業	2,440万円	688万円	(28.2%)	495万円	(20.3%)
合計	46億6,056万円	23億579万円	(49.5%)	14億5,877万円	(31.3%)

表 2

基金の状況 (9月30日現在)	
区分	基金現在高
財政調整基金	4億9,915万円
村債管理基金	2億448万円
その他特定目的基金	1億8,327万円
合計	8億8,690万円

表 3

地方債現在高の状況 (9月30日現在)	
会計名	地方債現在高
一般会計	32億8,020万円
国民健康保険診療施設 (医科診療施設勘定)	7,813万円
国民健康保険診療施設 (歯科診療施設勘定)	1,244万円
簡易水道	2億7,075万円
漁業集落排水施設事業	1億8,386万円
合計	38億2,538万円

平成23年度の一般会計・特別会計の9月30日現在の予算額(表1)は7回の補正と繰越事業で、当初予算額32億650万円より13億9406万円(29.9%)増の46億6056万円となっております。収入額は23億579万円で、予算額の49.5%。支出額は14億5877万円で、予算額の31.3%となっております。続いて表2、基金の状況です。基金は災害時などに備えておくもので、一般家庭に例えると貯金と同じ意味です。9月30日現在の基金の合計は8億8690万円で、東日本大震災への支出で前年度末より1億4935万円小さくなっています。

借金残高は約38億円

表3の地方債現在高ですが、これは国などから借りたお金の残高です。一般会計では、漁港や道路整備などの際に国からのお金を借りていますが、9月30日現在の残高を見ると32億8020万円です。計画的に返済しているのが前年度より8389万円減っています。特別会計の医科・歯科診療施設勘定は、施設を建てたときの返済分、簡易水道は水道施設の整備分、漁業集落排水施設分が太田名部地区の下水道整備の際に借りたものです。9月30日現在の特別会計の残高総額は5億4518万円となっております。

村では、皆さんに村の財政状況を正しく理解していただくとともに、納められた税金や国や県からのお金がどのように使われているかを知っていただくため、「財政状況の公表に関する条例」に基づき、財政状況をお知らせしています。今回は、本年度の上半期(4月~9月)の収入と支出などについて報告します。

予算執行率は31.3%



村を視察した際の榎屋村長(左から3番目)らと高城社長(同4番目)

高城社長は月刊誌の特集記事で、和村元村長が普代水門建設時に「費用が莫大だ」「高すぎる」と批判を受けたが、津波の被害を最小限に食い止めたことに心を打たれたと語ります。8月18日に村を訪れた高城社長は、水門などを視察しました。

監視船は来年春に完成する予定で、ウニやアワビなどの密漁防止に役立てます。

高城社長は「和村村長が苦勞して建設を成し遂げたことに感銘を受けた。今後も長い付き合いで支援を続けていきたい」と話していました。榎屋伸夫村長は「感謝の気持ちで胸に漁業復興を成し遂げたい」と誓っていました。

浄水器製造販売のタカギ(本社北九州)の高城寿雄さん(73)から、村に1560万円を寄付していただきました。村民の生命を守るため普代水門の高さにこだわった和村幸得元村長の思いに感銘を受けたといいます。村は高城社長の意向に添い、津波で流失した密漁防止の監視船購入費に充てます。

漁業監視船購入費に

高城社長は月刊誌の特集記事で、和村元村長が普代水門建設時に「費用が莫大だ」「高すぎる」と批判を受けたが、津波の被害を最小限に食い止めたことに心を打たれたと語ります。8月18日に村を訪れた高城社長は、水門などを視察しました。

北九州の村へ1560万円を寄付

水門建設の和村元村長に感銘

「普代漁師の挑戦」熱演

普代小の学習発表会

普代小学校(小) 山田厚校長、児童138人の学習発表会が10月22日、同校で行われ、1年生から6年生までが合唱や劇を披露しました。中でも5年生28人が演じた「逆境を力に、普代漁師の挑戦」では、児童たちが震災後に復興を誓う漁師を熱演。(写真上) 児童たちはカットパ姿で登場し温かみのある普代弁のせりふを響かせながら、熱のこもった演技を見せました。保護者ら約150人は、役になりきり演じる児童たちに目を細めながら、大きな拍手を送り好演をたたえていました。



黒崎マレットゴルフ場完成!

開場式でオープン祝う

黒崎地区自治会(金子泰男会長)が同地区に整備を進めていた「黒崎地区マレットゴルフ場」が完成し10月16日、開場式を行いました。式には榎屋伸夫村長や金子地区会長、地区住民ら約70人が参加。榎屋村長や金子会長の始球式の後、皆さんは青空の下、思い思いにプレーを楽しんでいました。



開場を祝い、プレーする皆さん

同計画は県の元気なコミュニケーション倍増計画モデル事業を活用し平成20年度から整備。

県の委託金36万円などで同地区の農村広場施設に18ホールを整備しました。金子会長は「今後は地区の交流の場として有効に活用したいです」と話していました。

マレットゴルフはミニゴルフの一種で、ゲートボールのスティック(マレット)とボールを使用し、ルールはほぼゴルフと同じ。同施設は、予約制で一般にも貸し出してます。(予約先:金子会長宅 ☎35-2855)

芦渡さん4位と健闘 山口国体重量挙げ



下関市・山口県国際総合センターで行われた第66回国民体育大会「山口国体」で10月10日、村出身の芦渡翔さん(久慈工高実習教諭=写真)が、重量挙げ成年94kg級ジャークで4位、スナッチで6位に入賞しました。

社会人になり昨年(ジャーク7位、スナッチ13位)に続く成年での国体入賞。「来年はジャークで3位に入りたい」と新聞にコメントしていました。

スナッチでは3回目に自己ベスト(130kg)に近い129kgを成功。得意のジャークでは163kgを記録しました。

芦渡さんは、久慈工時代から重量挙げを始め、各大会で入賞。その後法政大学に進み、全日本学生個人選手権優勝など実績を残してきました。今春から母校で実習教諭として教壇に立ち、放課後に生徒とともに汗を流しています。「口で言うより自分の姿が、手本となるように心掛けています」と話していました。



スポーツ少年団の子どもたちは判断力や瞬発力を高めるコーディネーショントレーニングを体験



グラウンドゴルフ体験会でプレーを楽しむ皆さん

フトテニスクラブ(松葉明人代表)所属の佐々木勇人君(普代中2年II写真)が堂々の3位に入賞しました。佐々木君の出場した中学2



と健闘をたたえていました。普段とは違うシングルスを戦った佐々木君は「決勝にいけないで悔しかったです。もっと上を目指し練習を頑張ります」と話し、同クラブコーチの川向正人さん(48)は「ねばり強くできたので、今後はダブルスにもつなげてほしい」と健闘をたたえていました。

第12回東北ジュニアシングルスソフトテニス大会(東北中学校ソフトテニス指導者協議会主催)が10月29日、北上市で行われ、普代ジュニアソ

シングルス・ソフトテニス大会 佐々木君が東北ベスト3

年生男子の部には東北6県から118人が出場。見事5回戦まで勝ち進み、準決勝に駒を進めました。準決勝では宮城県の佐藤君と対戦。フルセットまで持ち込みましたが、惜しくも2-3で敗れてしまいました。

さまざまな年代がスポーツ交流 スポレク健康祭に150人



ソフトボールは、普代中ソフトボール部と一般が交流試合



ソフトバレーには5チームが参加



柔道教室に参加している小学生らが練習の成果を試合形式で公開

2011スポーツ・レクリエーション健康祭(はまゆりスポーツクラブ主催)が10月9日、北緯40度運動公園で行われました。ソフトボー

ルやサッカー、ソフトバレーボール、柔道、グラウンドゴルフなど多彩な競技で、子どもから大人までがスポーツの秋を満喫しました。同祭は、村民の豊かなスポーツライフと健康で明るく活力ある生活を推進するのが目的。参加者の皆さんはそれぞれの競技でさわやかな汗を流しました。



サッカーは普代中選抜とアヴァンツァーレ普代(村内唯一のチーム)とで熱戦

【大会結果】

小学生低学年の部(男子) 1km			
1位	赤坂 誉基	4分06秒	普代小3年
2位	熊谷 心朗	4分24秒	普代小3年
3位	鎌倉 蓮	4分28秒	普代小2年
小学生低学年の部(女子) 1km			
1位	赤坂 愛夏	4分37秒	普代小3年
2位	藤島 杏夏	4分56秒	普代小3年
3位	川向 柚歌	4分57秒	普代小2年
小学生高学年の部(男子) 3km			
1位	石川 草太	12分30秒	普代小6年
2位	深渡 翔	12分31秒	普代小4年
3位	森田 賢	12分31秒	普代小6年
小学生高学年の部(女子) 3km			
1位	赤坂 美香	13分09秒	普代小6年
2位	中花 優花	14分46秒	普代小5年
3位	熊谷 鈴加	15分17秒	普代小6年
中学生の部(男子) 4.2195km			
1位	赤坂 祥基	16分35秒	普代中1年
2位	赤坂 貴好	17分19秒	普代中2年
3位	及川 拓	17分59秒	普代中2年
中学生の部(女子) 4.2195km			
1位	中田 彩香	19分59秒	普代中3年
2位	梶谷 美祈	20分51秒	普代中2年
3位	中村 郁美	21分05秒	普代中2年
高校生以上一般の部(男子) 4.2195km			
1位	小田 孝一	16分58秒	野田村
2位	前川 健吾	21分17秒	白井
親子の部 1km			
1位	岩崎 彩花・弘子	5分17秒	久慈市
2位	須田 信悟・理恵	5分53秒	白井
3位	高井 理史・俊雄	7分05秒	緑区

第18回北緯40度はまゆりマラソン大会が10月29日行われ、幼児から一般まで175人が健闘を競いました。今年には震災の影響で普代浜折り返しのコースを白井の運動公園近辺に変更。小学生低学年、高学年、中学生の男女、高校生以上一般男子、親子の計8部門で健闘を競いました。秋晴れの下、参加者は多目的グラウンドをスタート。急な上り坂のコースを元氣よく走る姿に、沿道の観客からは「頑張れー、頑張れー！」と盛んに声援が送られていました。閉会式前にはスペシャルゲストのサッカー元日本代表の



太平洋をバックに懸命に走る選手たち(小学生低学年、親子の部)

水沼貴史さんのトークショーが行われ、自身の経験談や子どもたちが一生懸命走る姿を見て、スポーツを愛する一人

として感動したことなどを話しました。各部門の3位まで結果は上の表の通りです。

久慈地区少年ふれあい柔道・剣道大会 熊谷君が優勝、団体は準優勝

第22回久慈地区少年ふれあい柔道・剣道大会(同実行委員会、久慈警察署主催)が10月15日、久慈市民体育館で行われ、剣道団体小学生の部で普代尚武館(坂下尚志代表)が準優勝に入賞したほか、同個人小学生低学年の部で熊谷心朗君(普代小3年)が見事



坂下代表(左端)とちびっこ剣士たち(写真/同スポ少提供)

同剣道スポーツ少年団は、普代小の坂下尚志副校長が希望者を募り指導。現在団員は14人で、平日の午後6時から約2時間、同校の体育館で古い古に励んでいます。坂下代表は「優勝目指して臨んだ大会でしたが、残念ながら勝てず子どもたちは悔し涙を流していました。その涙を忘れず練習に励み、心身共に強くなってほしいです」と話していました。

優勝、また同部で村尾恭吾君(同4年)が3位、同高学年の部では赤坂美香さん(同6年)が3位に入賞しました。大会には久慈地区から小、中、高生約280人が出場。柔道と剣道の2種目で団体戦と個人戦が行われ、それぞれが技を競い合いました。



しろぐみにまけないぞあー!
ほらっ! みんながんばるぞ!!

ぼーん。
いっぱい
はいれえ~



キーキー
まがい
まあ~す!



わっしょい わっしょい
ひっばれえ~



ゲロゲロ♪ ビョンビョン♪
ぼく、カエリだよ。みてみてえ~



ヤッター!!
しろぐみの
がちい~



ビョンビョン
まて、まてえ~!!



はあ~い、
いくおあ!
「ウエーブ!!」



お父さん
やったね!!
1番だよ



はい。ピラミットの
かんせえ~い!



ああ~ん。
わたし、いちばん



はい。
たっちい~!!



やった~!
ぼくのがちだあ~!!



よし! がんばるぞ!
お父さん。まてこね。
あぐもどってくるから



あごいあごい♪
ほらっ、がんばれえ~



がんばったね。
はい ごほうびだよ

わあ~♪
ありがとう

いっぱい楽しかったよ!

はまゆり子ども園運動会

せえ~の。これで、はまゆりこどもえんの
うんどうかいをおわいます。
ありがとうございました



ターゲット。小さな体で一生懸命にゴールを目指し最後まで走りきった園児たちの姿に、会場からは大きな拍手と声援が送られていました。

そのほか、幼児の親子競技や来賓との綱引きなども行われ、参加した皆さんも楽しそうに園児と競い合っていました。終盤には、年少から年中による玉入れや年長組の親子リレーも行われ、園児たちはうれしそうに保護者らと最後まで諦めることなく力強い走りを見せていました。

いっぱい楽しい楽しかったはまゆり子ども園の初運動会。大きな拍手と声援を受けた園児らはまた一つ成長した様子でした。

はまゆり子ども園(日沢栄子園長、園児76人)の初の運動会が10月8日、社会体育館で行われました。

広い園庭がないことから室内での開催でしたが、多くの保護者や祖父母が見守る中、園児らは紅白に分かれた帽子をかぶり元気いっぱいにつこやリズム運動など15種目を競技しました。

かわいらしいハトポップ体操で始まった運動会。徒競走の「めざせ!スパーキッズ」では、園児たちは一人一人名前を呼ばれると、元気よく返事をし合図とともに一斉にスタート。

小さな体で一生懸命



ビッビッビッ♪
きあつけ!!

一人一人が成長しました

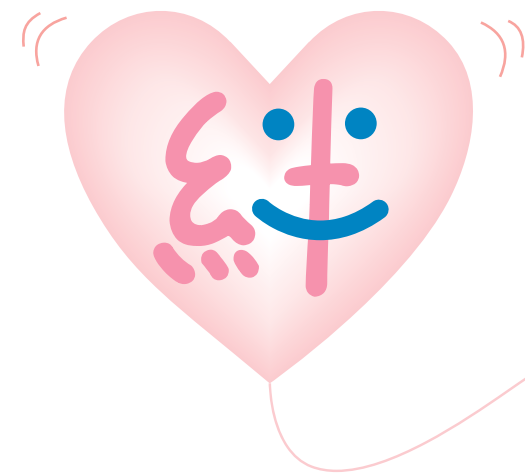
『挑戦を続けて丈夫な体と心を持った人になりましょう』。運動会練習を意識し始めた9月、子どもたちに語りかけますと、数日後には、「ケンケンパーに挑戦して早くできるようになりました」「僕は縄跳びができるようになったよ」「わたしも、園長先生見て見て!」と反応がありました。

運動会当日は、全園児が行進できました。年齢相応にリズムに乗って体操し、確かな足取りで走り、跳び、投げました。年長児は、ギャラリーの励ましのおかげで完璧!?な組体操を披露できました。子どもたちを笑顔で包んでいただいたあの半日をとてもありがたく、うれしく思います。

運動会後は、立つとふらふらする子、列から離れて寝そべっている子、苦手なことから泣いて逃げる子が少なくなりました。体がしっかりすると、優しく意欲的な生活になります。一人一人が自信を持った喜びは、運動会の絵に伸び伸びと表現されています。

「生涯にわたり運動にスムーズに対応できるかどうかは、7歳までの体験に左右される」と一説にいられています。この年代の子どもたちはわずかな期間で、できることをどんどん増やしていきます。今後も丈夫な体と優しい心を持つ子どもたちを職員全員で育てていきたいと思ひます。

はまゆり子ども園
日沢 栄子 園長



●取材で感じたこと…
絆をつなごう!

震災後間もない4月、普代児童館から認定子ども園となりスタートを切った「はまゆり子ども園」。村が大津波からの復興を描き進む中、子どもたちはいつも明るい笑顔を見せてくれました。

今回の運動会もそうです。お父さんやお母さん、たくさんの方に、元気いっぱい姿を見せてくれました。

年長組16人が描いた運動会の絵が村の文化祭に展示されていました。カラフルで笑顔がちりばめられた子どもたちの絵に、元気をもらった人もいたのではないのでしょうか。「できないかも知れない、けど頑張ろう。年中、年少組のお手本になろう。そんな思いで年長組の子どもたちは頑張りました。立派でしたよ。みんな本当に成長しました」日沢園長も笑顔を見せました。親子の絆、家族の絆、園の絆…。運動会という行事で、震災後また一つ二つと絆が生まれました。その絆は、明日への希望につながり、村の未来を明るく照らしてくれているように思えます。



しょうじじゅんのすけ
たまいれがあどくたのしかった。



たかい りひと
おたからゲットはぜんぶたのしかった。たまいれつなひきもたのしかった。



おおかみ いよな
おたからゲットで、はしったいなわとびをしたのしかった。



あかさか きくの
おたからゲットやパンくいきょうろう、なわとびとびとあったのしかった。



おおた かいと
うんどうがいとおたからゲットがたのしかった。だつてなわとびができるようになったから。



いしはな あおい
ときょうろうがたのしかった。だつてあおいがしばんだったもん



ひおかい せいら
なわとびやさんいんしゃ、パンくいきょうろう、おたからゲットがたのしかった。



かねこ えみ
たまいれがたのしかった。



たかやしき さな
うんどうがいは、ぜんぶたのしかった。またやりたいな。



ながや れんた
パンくいきょうろうと、たまいれがたのしかった。



しもつほ きょういち
おたからゲットもたのしかったし、たまいれもたのしかった。



なかた ありさ
うんどうがいぜんぶたのしかったよ。ありさはちょうのつなひきとパンくいきょうろうをかいたの。



さいとう ふうご
さんいんしゃをやったいパンをゲットすることができてたのしかった。



すだ せいや
うんどうがいはぜんぶたのしかった。くみたてのうたがうまくてよかった。



さわぐち あみ
たまいれと、おやこりーがあかさかとはしてたのしかった。



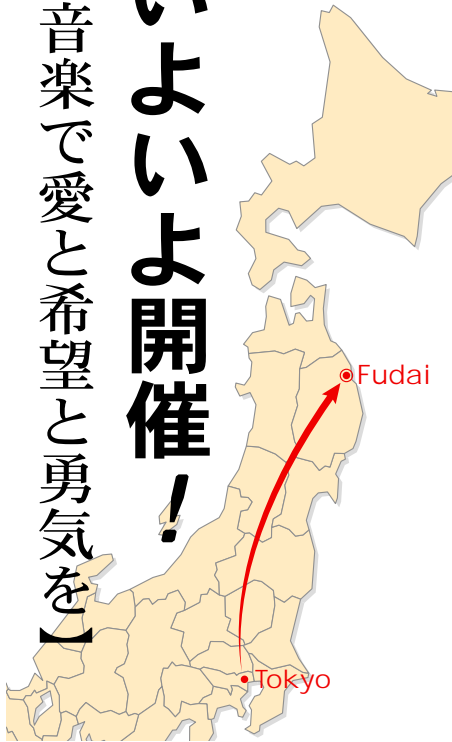
おおた ひな
おたからゲットでなわとびとパンくいきょうろうがたのしかった。

絆

コンサート

12月3日(土)いよいよ開催!

「復興支援・音楽で愛と希望と勇気を」



「サカモト・ミュージック・スクール」の校長で音楽家としても世界的に名高い坂本博士さんやソプラノ歌手の



坂本博士さん

権藤裕子さん、杉村八重さん、ピアノリストの森園直子さん、そして同スクール・レディー・スコラスの有志など25人を

迎え開催する、「絆」コンサート(同実行委主催)がいよいよ12月3日に、社会体育館で開かれます。

坂本先生は、43年前三陸大津波を題材にした自身創作のミュージカル取材のため普代を訪れたという村に縁のある人物。昨年6月26日には、小学校統合記念事業として「ふれあいコンサート」を開き小学生ら350人が参加しました。その8カ月後の東日本大震災による大津波。村や子

どもたちを心配され坂本先生は心を痛めました。

しかし「私が普代のためにできることは歌で励まし、応援すること」と思い村に曲を贈ってくれました。「絆」希望の道「ふるさとに贈る愛の歌」の「絆」3部作です。

そして、坂本先生はかねてからの希望だった村での復興コンサートを決意。「毎日毎日、普代のことを考えていました。コンサートが実現でき

てうれしい」と待ち遠しい様子です。

ひとときも忘れず、自身の故郷のように普代の事を話していた坂本先生。そんな先生の思いに賛同したスクールの生徒さんらもコンサートに参加したい、と言いました。

「1年前のコンサートで出会った子どもたちや皆さんに会いたい」先生の普代への思いは日に日に強くなっ

ていきました。12月3日、先生の願いが現実になります。

絆コンサートは、そんな村へ贈った曲や合唱、ソプラノ独唱・ピアノ独奏など、子どもたちや「コーラス・ライオンツト風」にてほかい合唱団「

この合同合唱も披露します。さらに同スクールの医学博士・細田泰之先生が「音楽・心のケア」のお話もします。構成・演出は坂本先生が自ら考えました。「この空の下、いつでもみんなつながっている」。そんな思いでコンサートが繰り

みんなのイラスト展



谷地一星くん (力持・7歳)



谷地真鈴さん (力持・10歳)



赤坂美香さん (白井・12歳)



仲村妃礼さん (京都府京都市・13歳)



中田悠真くん (力持・2歳)



仲村妃織さん (京都府京都市・11歳)



藤島杏夏さん (白井・9歳)



仲村威慧くん (京都府京都市・10歳)



道上夢子さん (白井・11歳)



昨年のコンサートの模様 (社会体育館)

広報クイズ

いつも「みんなのイラスト展」に元気な絵を描いてくれているみんな、ありがとう!。みんなのイラストで「広報ふだい」を明るくするようお願いいたします。「ふだい」への応援

- 日時 12月3日 午後2時開演 終演午後3時30分
- 場所 村社会体育館
- 問い合わせ: 同実行委事務局 (☎35-2052)

応募の方法

はがきに答え、郵便番号、住所(地区名)、氏名、年齢、性別、世帯主の名前、電話番号を書いて応募してください。正解者の中から抽選で5人に図書カードをプレゼントします。はがきに今月号の感想や意見、イラストなど書いてくだ

- さい。紙上で紹介します。
- ◎あて先: 〒028-839 2 普代村9-13-2 普代村役場広報クイズ係
- ◎締め切り: 12月12日(月) 当日消印有効
- ◎10月号の答え: ①-B ②-1-B
- ◎応募総数: 9通で6人が正解でした。抽選の結果、次の5人に図書カードをお送りします。おめでとうございます。
- ◎当選者: ①道上夢子さん(白井・11歳) ②谷地一星くん(力持・7歳) ③藤島杏夏さん(白井・9歳) ④中田悠真くん(力持・2歳) ⑤赤坂美香(白井・12歳)



※注 色の濃さ、文字(あ~け)の下に隠れている部分は間違いに含みません

広報間違い探しクイズ

おとうさん
おかあさん
あのね... 294



ふうごくん (はまゆり子ども園さくら組)

さいとうふうごくん(齋藤楓吾・5歳)から父・新さん、母・未央子さんへ

おとうさんはバーベキューをすることとか、ふうごのあそびところとか、つくってくれるんだよ。おとうさんのてつだいをするのがたのしみなんだ。ふうごがわるいことをすると、おこるけど、いつもわらっているおとうさんがだいすき!

おかあさんのおりょうりは、おいしいからぜんぶだいすきだけど、ふうごはハンバーグがいちばんすき! ゆうご(おとうと)をうんだばかりで、あなかがいたそうだね。だいじにしてね。ゆうごをうんでくれてありがとう。こそだて、がんばってね!

総務課 ☎35-2111 保健福祉課 ☎35-2114
税務課 ☎35-2112 農林商工課 ☎35-2115
住民課 ☎35-2113 建設水産課 ☎35-2116

出納室 ☎35-2117
議会事務局 ☎35-2118
教委事務局 ☎35-2711
保健センター ☎35-2211

戸籍の窓

10月分(敬称略・順不同)

お誕生おめでとう (2人)
熊谷 昂大(次朗・りつ) 中央区
上田 智徳(純一・利香) 旭日区

ご結婚おめでとう (2組)
深渡 優志) 上区
島田 由香) 盛岡市
西井 一幸) 上区
苅間澤まち子) 久慈市

お悔やみ申し上げます (4人)
宮本 ユキ 堀内 89歳
芦生 トモ 芦生 103歳
下上 誠一 太田名部 73歳
山本吉三郎 鳥居 86歳

交通安全 対策情報

■村内の交通事故《10月》
人身事故 0件(6件)
物損事故 0件(21件)
※()内は1月からの累計
飲酒運転検挙者 0人(1人)
※()内は8月からの累計
■救急車の出動回数《10月》5回
■飲酒運転検挙状況(県交通安全対策協議会調べ)
県内34市町村中ワースト順位…1位
(9月30日現在)
県内の検挙者数《9月》40人

人口と世帯

10月末現在
前月比 前年比
人口 3,016人 (-4) (-77)
(男) 1,476人 (-3) (-32)
(女) 1,540人 (-1) (-45)
世帯 1,114戸 (-2) (-11)

ご存じですか?

12/7に人権相談所を開設

宮古人権擁護委員協議会などでは、12月4日～10日の人権週間に合わせ、次の通り特設人権相談所を開きます。相談は人権擁護委員の和村淑子さん、釜谷寿人さん、野崎貞信さんの3人が相談に応じます。相談は無料で秘密は堅く守られます。
▶日時…12月7日(水) 10:00～15:00
▶場所…役場会議室
▶相談内容…夫婦や親子などの家族間の問題、境界などの近隣問題、地代・家賃などの問題、いじめ、不登校、高齢者問題など。
▶問い合わせ先…盛岡地方務局宮古支局(☎0193-62-2337)

シルバー110番、ご利用を

岩手県高齢者総合支援センターでは高齢者のなんでも相談「シルバー110番」を次の通り開設しています。相談は予約制で、法律・医療・人生・認知症などの相談に専門家が応じます。秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。
▶相談日・時間…月曜日から金曜日 9:00～17:00(土日・祝日は除きます)
▶相談番号…☎0120-84-8584(利用料は無料)
▶問い合わせ先…県高齢者総合支援センター(☎019-625-7490)

シベリア抑留者に給付金支給

独立行政法人平和祈念事業特別基金では、シベリア戦後強制抑留者に対する特別給付金を次の通り支給しています。
▶対象者…旧ソ連邦またはモンゴル国の地域における戦後強制抑留者で、平成22年6月16日に日本国籍を有する人。ただし、特別措置施行日の平成22年6月16日以降に亡くなられた人の相続人は請求できますが、執行日前に亡くなられた人の遺族などは、対象となりません。
▶請求受付期間…平成24年3月31日 ※まだ請求されていない人はお急ぎください。請求期間内に特別給付金の支給の請求をしなかった場合には、支給されません。請求書を持っていない人は、当基金から請求書類を送りますので、電話ください。
▶問い合わせ先…☎0570-059-204(ナビダイヤル)、※IP電話・PHSからは☎03-5860-2748、時間は土日・祝日を除く平日の9:00～18:00



林退共制度に加入した皆さん

独立行政法人勤労者退職金共済機構では、林退共制度に加入していたが、退職金をまだ受け取っていない方を探しています。以前、林業の仕事をしていたが、ご自身が林退共へ加入していたか分からない人も調べています。また、罹災された共済契約者や被共済者に対し、各種手続(共済手帳の紛失、退職金の請求等)の必要が生じた場合はできる限りの範囲で速やかに対応します。最寄の支部又は本部へお問い合わせ、ご相談ください。
▶問い合わせ先…独立行政法人勤労者退職金共済機構(☎03-5400-5443)

農業用廃プラスチックを回収

久慈地方農業農村活性化推進協議会では、農業用廃プラスチックの適正処理のため、回収事業を行っています。本年度は11月28日から12月2日までの5日間に行います。古くなったハウスのビニールやシート、ラップファイルなどを野焼きしたり無許可で埋め立てることは法律で禁止されています。回収場所など詳しくは、役場農林商工課(☎35-2115) J A新岩手久慈営農センター、振興局農政部、農業改良普及センターへお問い合わせください。

岩手県最低賃金 時間額 645円
「必ずチェック 使用者も、労働者も」

普代村ふるさと応援基金への寄付状況(11月14日現在)

23年度分 **4,404,000円** 累計 **5,967,000円**
72件(村内31件、県内4件、県外37件)

普代村ふるさと応援寄付の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。また、総務課(☎0194-35-2111、内線114)までご連絡ください。

募集しています!

陸上自衛隊の高等工科学生

防衛庁では、次の通り男子自衛官を募集しています。応募資格…平成23年4月1日現在で15歳以上17歳未満の男子
▶試験科目…①一般試験・筆記試験(5教科・作文) ②推薦試験・口述試験、基礎学力試験(論述問題含む)、身体検査
▶受付締切…①一般試験・平成24年1月6日(金) ②推薦試験・12月16日(金)
▶試験日・場所…①一般試験・平成24年1月14日(土) ②推薦試験・平成24年1月7日(土)～9日(月)の間の指定する1日
▶問い合わせ先…自衛隊久慈連絡所(☎0194-53-5419)

普通救命講習 I

●日時…12月11日(日)9:00～12:00
●場所…久慈市防災センター
対象は中学生以上30人。受講料は無料。11月14日～12月9日の間に下記に申し込んでください。
●問い合わせ先…久慈消防署警防救急係(☎53-0119)

困っていたら相談を!

久慈地区法律相談
▶期日…12月2日(金)、26日(月)▶時間…10:30～15:30▶場所…久慈市役所
▶問い合わせ先…久慈市役所生活環境課(☎0194-52-8003)
多重債務者相談
▶期日…12月22日(木)▶時間…9:00～16:00▶場所…久慈市役所▶問い合わせ先…久慈市役所生活環境課(☎0194-54-8003)

エイズ・肝炎ウイルス・性器クラミジア検査、骨髄バンク登録
▶日時…12月13日(火)①エイズ・肝炎・性器検査:14:00～16:00、17:00～19:00 ②骨髄バンク登録(要予約):14:00～16:00▶場所…久慈保健所
▶問い合わせ先…久慈保健所保健課(☎0194-53-4987)

精神保健福祉相談
▶日時…12月16日(金)13:30～▶場所…久慈保健所▶問い合わせ先…久慈保健所保健課(☎0194-53-4987、要予約)

ひきこもりの若者の小さな集まり・家族会
▶日時…12月15日(木)14:00～16:00▶場所…久慈保健所▶問い合わせ先…久慈保健所保健課(☎0194-53-4987)

肖像写真 技能士 **カトウ写真館** TEL(35)2594
年賀状の準備が完了! 45円
12月まで! 47円
印年賀状 早期割引 10%OFF!
年中はがき 承ります
翌日スピード仕上げ

DVDダビング 大切な思い出をDVDに永久保存!
二人なかくよく幼稚園の遠足 一生心に残る名勝負…
いっしょけんめいがんばった運動会 思い出の旅行…
ビデオテープをDVDに! ベータ・8ミリ・DVCのテープからもOK!
当店通常価格1枚120分まで1,500円(税込) 8ミリフィルムもダビングOKです!! 価格応談
(有)坂下電化センター TEL 35-2138

塗装
茂石総業 代表 茂石祐次 ☎35-2933

喪中、年賀、あて名印刷受付中
使いすてコンタクトレンズ・販売しています。
祝ご成人記念写真 前撮り・ご予約 受付中!
普代村 中央区 **まつば時計店 ☎35-2276**

クリスマスはみふねのクリスマスケーキ!

12/11(日)
海産魅了市

おやきドーナツなど販売します!!

中央区 **三船製菓** ☎35-2020

オフィス用品を **明日くる** アスクル

翌日お届け!

オフィス用品デリバリーサービス! 無料カタログ申込は下記まで

最北街伝説の地 鶴岡神社前 **のだ事務機**

☎0194-36-1030 FAX0194-35-3016

岩手日報普代販売センター 金子新聞店

畳工事一式、内装工事、ふすま・障子・屏風張替

沢口畳店

普代村13-12-8 TEL・FAX 0194-35-2561

毎月 **2日、12日、22日**

ポイント2倍デー

(有)まるに ☎35-2201

元気回復イベント!

海産魅了市

12月11日(日) 午前9時30分～午後3時

場所: 村社会体育館・駐車場

海産物・地元特産品販、大漁旗をつくろう、炉端焼きセルフ、復興もちまき、三弦会小田島徳旺一行による三味線民謡手踊りステージ、大イケス活魚たもすくい、網元への大漁旗授与式など

問い合わせ…北三陸 普代むらから元気アクション実行委員会 (事務局村商工会内 ☎35-2132)

「薄〜い」のは私だけ!?

冷たい風が ひゅ〜ひゅ〜
身体が震いのは冬だから?
寒い?本当は
身体が「冷〜」ているのでは…
まずは、身体の中から温めて!

高橋薬局 中央区 電話 35-2045

普代ポイントカード会からのお知らせ!!

「毎月10名様にラッキーチャンス、2,000円の商品券が当たります」10月当選者は以下の方々です。

大橋みなみ様(旭日区) 上山文太郎様(田野畑村) 中田夕翔様(白井) 日向結衣様(沢向) 松頭澄子様(緑区) 向井克子様(田野畑村) 村田勝弘様(田野畑村) 山本明子様(鳥居) ほか2名様

普代ポイントカード会 普代商工会内 ☎35-2132

お買い物は、ぜひ普代ポイントカード会加盟店のご利用をお願いいたします。

愛車の車検 お気軽にご相談ください。

民間車検だからできる **格安料金、日帰り車検!**

新車登録後5年または走行5万km未満のお車に限り!

●車検料例【諸掛かり込み】 ※クレジットもO.Kです!!

軽乗用車 **55,000円**~ 軽トラック **54,000円**~

※その他の車種については、ご相談ください。お車の状態によりご相談させていただく場合があります。

東北運輸局長指定民間指定工場 **南ナガサワ自動車整備工場**

電話 **0194-35-2216**
FAX **0194-35-2158**

もっと村のわだい **NEWS**

売上げの一部義援金に 村出身の三船君ら贈呈



東北で理美容店などを展開する株式会社ヒラトヤ(本社盛岡市)に勤務する村出身の三船玄太さん(22=左)と田野畑村出身の早野藍さん(19)が役場を訪れ、「お客さまのお気持ちを持ってきました」と榎屋伸夫村長に義援金50万円を手渡しました。(写真)

義援金は、同グループが被災地支援のため、シャンプーやカラーなど売上げの一部を充てたもの。震災後、三船さんは従業員らと盛岡市内の町中に立ち支援活動を積極的に行ったといいます。



「やはば丸」がよいよ進水します

首都圏在住の矢巾町出身者で組織するふるさと矢巾会(村松充会長が村に贈った支援金100万円を活用した小型漁船「やはば丸」(1・7ト)が完成し、11月4日太田名部漁港でお披露目されました。

漁船は村漁協(前川健吾組合長)所有とし、ワカメやコンブの養殖施設を整備するための共同利用船として使用されます。同日は前川組合長や榎屋伸夫村長ら関係者約10人が、やはば丸が進水するのを見守り、その後、漁港内を



港内で試運転。出来上がりも上々です

試運転しました。

村は同会からの漁業復興に役立ててほしいとの意向に沿い、共同利用船購入の費用に充てました。前川組合長は「とてもありがたいこと。ワカメやコンブの養殖施設復旧のために役立てたい」と復興への思いを新たにしました。

「やはば丸」が完成しました!

ふるさと矢巾会の支援金活用

イベントNews

イカ焼き大好評

10月29日、30の両日、矢巾町秋まつりに村から出店。海産物などをどっさり販売しました。初日から好評だったのがイカ焼き。(写真) 終始長蛇の列ができたほどでした。皆さんお買い上げ、ありがとうございました。

写真/矢巾町提供

津波写真や映像を提供してください!

村は、3月11日の大津波の写真や映像などを収集しています。記録保存、今後の防災対策などに活用します。ぜひ、下記にお電話ください。お待ちしております。

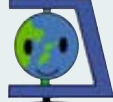
●提供・問い合わせ先…役場総務課広報係(☎35-2111、内線117)

東北電力で 防犯灯20基寄贈

久慈市の東北電力久慈営業所(残間健志所長)とユアテック久慈営業所(福島豊所長)が10月24日、復興支援として、村に発光ダイオード(LED)防犯灯20基を寄贈しました。(写真)

残間(左)、福島(左2番目)両所長らが役場に訪れ、榎屋伸夫村長(右)に目録を手渡ししました。榎屋村長は「大変ありがたいです。地域の要望を聞いて設置し、安全・安心の村づくりに役立てたいです」とお礼しました。

◇お断り その日にあったことはお休みします。



◎「流行」には、のらないで。予防が大切 インフルエンザ

普代小児童作
「アース君」

12月のこんなこと、あんなこと

日	月	火	水	木	金	土
	28 (友引)		30 (仏滅) ・2歳6カ月児歯科教室(受け付け12:00~12:15、㊦)	12/1 (大安) ・冬の交通事故防止県民運動(~10日)	2 (赤口)	3 (先勝) 「絆コンサート 音楽で愛と希望と勇気を!!」(㊦ 14:00~15:30)
4 (友引)	5 (先負) ・健康相談(黒崎・太田名部)	6 (仏滅)	7 (大安) ・健康相談(力持・白井) ・特設人権相談所(10:00~15:00、㊦)	8 (赤口) ・ジフテリア、百日ぜき、破傷風・麻疹、風しんI期予防接種(受け付け13:30~13:45、㊦)		10 (友引) ・サタデースクール⑬、⑭
11 (先負) 元気回復「海産魅了市」(㊦ 9:30~15:00)	12 (仏滅)		14 (赤口) ・お誕生教室(受け付け12:00~12:15、㊦)		16 (友引)	
 無料で地デジのテストします!! (電話 019-604-2637)		20 (赤口)	21 (先勝) ・離乳食教室(受け付け12:00~12:15、㊦)	22 (友引) ・普代小中学校2学期終業式	23 (先負) 天皇誕生日	
	26 (先勝) ・固定資産税第3期納期限 ・国民健康保険税第4期納期限	 あすへの一歩 青い海(水産業)の復興			30 (大安)	㊦は保健センター ㊧は北緯40度野球場 ㊨は社会体育館 ㊩は管理センター ㊪はふれあい交流センター ㊫は医科診療所 ㊬は子育て支援室 ㊭は海洋センター

広報ふだい11月号 No.594

発行日 平成23年11月24日
編集 普代村役場 総務課
〒028-8392
岩手県下閉伊郡普代村
第9地割字銅屋13番地2
TEL0194㉔2111 FAX0194㉔3017
ホームページ <http://www.vill.fudai.iwate.jp>
電子メール fudai@vill.fudai.iwate.jp
印刷 有限会社 九戸印刷

ホッと一息

▼夕暮れ時、村内の商店街や通路などを2、3周、車で走りました。気付けば、道路標識や車、バイク、自転車などに反射材が着いていました。あと、中学生のカバンにも。ドライバーの安全確認も大事ですが、歩行者の「光」の備えも大事だと思いました▼震災から7カ月を過ぎた10月30日、船の修理や網の補修などを終え、全9ヶ統の秋サケ定置網漁が操業。漁師さんたちは、がれきの片付けからワカメやコンブの養殖施設の準備をしながら、やっとここまでこぎ着けました▼11月18日早朝、気温はマイナス3℃。小生は太田名部市場へ取材に。船のエンジン音が響く中、サケやシヨッコなどの選別を黙々とこなす漁師さんたち。カメラ越しに見える光景は震災前のように活気づいていました。どうが大漁を」と願いながら、もらった缶コーヒーで両手を温めました。(森田😊)